

令和7年度 美術科 授業改善推進プラン

大田区立志茂田中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・第2学年と第3学年は、昨年度に学習したことを活かして制作をしている。
- ・イメージマップなどで発想を広げ、さらに視覚化するためのタブレット活用は効果的であった。
- ・積極的に授業に参加する生徒が多い。
- ・各課題の資料を紙媒体とデータで配布することで、定期テストの学習に役立っている。
- ・作品鑑賞についてはICTとプリントや付箋など紙への手書きを使用し、相互鑑賞と個別鑑賞の良さを生かして深く考え、多角的な視点で鑑賞できるように行っている。

(2) 課題

- ・制作進度に個人差があり、授業内で完成できない生徒は放課後補習を行っている。

2 分析（観点別）

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第1学年	書体（レタリング）や色の特性、道具の使い方などの基礎知識をしっかりと身に付けて制作に取り入れている。	形や色彩などの工夫を考え、構想を練り表現している。	課題の意味や美しさなどに関心をもち、意欲的に授業に参加し、制作している生徒が多い。
第2学年	1年次で学習した色の特性などを効果的に取り入れ制作に活かしている。	材料の特性や効果を考え構想を練り、自分なりの表現ができている。	材料の特性や機能性などを生かして作ることに関心をもち、意欲的に取り組む生徒が多い。
第3学年	1、2年次で学習したことを制作に取り入れている。 自分の表現に合った技法や画材を選び制作できている。	他者の作品の特徴や美しさを感じ取ることができている。 形や色彩などの工夫を考え、構想を練り表現できている。	美術の創造活動の意図を理解し、意欲的に授業に参加し制作している生徒が多い。

3 授業改善のポイント（観点別）

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第1学年	基礎的・基本的な知識と技術を身につける。自分の考えや思いを表現することができるようにする。	イメージマップで発想を広げ、形にするためにタブレットを活用する。さらに豊かな発想ができるように個別にサポートする。	生徒が意欲関心をもてるような課題を設定する。分かりやすい授業を目指し、資料を作成する。また作品の鑑賞を行うことで多様な表現を理解する。
第2学年	1年次に学習した内容を復習し、多種多様な表現ができるようにする。知識分野のテストは苦手な生徒が多いので、課題に合った資料を作成し活用する。	イメージマップで発想を広げ、イメージした物を形にするために、タブレットを補助的に活用する。さらに豊かな発想や多様な表現ができるために個別にサポートする。	生徒が意欲関心をもてるような課題を設定し、学習計画表やワークシートを活用し計画的に取り組めるようにする。また作品の鑑賞を行うことで多様な表現を理解する。
第3学年	1、2年次で学習した内容を復習し、多種多様な表現ができるようにする。知識分野のテストは苦手な生徒が多いので、課題に合った資料を作成し活用する。	イメージマップで発想を広げ、イメージした物を形にするために、タブレットを補助的に活用する。さらに豊かな発想や多様な表現ができるように個別にサポートする。	生徒が意欲関心をもてるような課題を設定し、学習計画表やワークシートを活用し計画的に取り組めるようにする。また作品の鑑賞を行うことで多様な表現を理解する。